

現代アートギャラリー-NANZUKAのキュレーションによる企画展の最終章  
**『JP POP UNDERGROUND』**  
 心齋橋PARCOオープンこけら落としとしてPARCO EVENT HALLにて11/20(金)より開催！



株式会社パルコ(本部：東京都渋谷区)は、2020年11月20日(金)から2020年12月6日(日)までの期間、渋谷の現代アートギャラリー-NANZUKAのキュレーションによるグループ展、『JP POP UNDERGROUND』(以下、JPU)を心齋橋PARCO 14F「PARCO EVENT HALL」のこけら落とし企画展として開催します。

本展覧会は、昨年NYとLAにある「Jeffery Deitch ギャラリー」を巡回した「TOKYO POP UNDERGROUND」および、本年7月に渋谷PARCOの「PARCO MUSEUM TOKYO」で開催した「GLOBAL POP UNDERGROUND」のコンセプトを踏襲した、一連の企画展の最終章となります。

本展は、田名網敬一、空山基、山口はるみ、Haroshiなど国内外第一線で活躍する16人日本人アーティストのグループ展です。また、YOSHIROTTEN率いるYARによるデストピアをテーマにした空間および展示構成は、ここでしか味わうことのできない体験を提供します。

さらに、心齋橋PARCO12F「滝の広場」には渋谷PARCOで展示され大きな話題と注目をさらった、空山基による全長7mの巨大な「Sexy Robot」のパブリックアートが登場する他、会場内では同作品を1/4スケールにした「Sexy Robot floating Gold ver.」限定エディションを抽選販売いたします。

是非、貴社媒体にてご取材、ご掲載の程よろしくお願い申し上げます。

【本展覧会に関するお問い合わせ】

株式会社パルコ

<プロモーション部>

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町8-16 渋谷ファーストプレイス

担当：高橋 賢太郎 [taka-ken@parco.jp](mailto:taka-ken@parco.jp) 和田 裕太 [wada-yuta@parco.jp](mailto:wada-yuta@parco.jp)

Tel：03-3477-5713 Fax：03-5489-7481

<心齋橋店>

〒542-0085 大阪府大阪市中央区心齋橋筋1丁目8-3 心齋橋パルコ 8Fパルコ総合事務所

担当：岡田 和也 [oka-kazu@parco.jp](mailto:oka-kazu@parco.jp)

Tel：06-7711-7401 Fax：06-7711-7444

## ■ 展覧会開催概要

タイトル：JP POP UNDERGROUND

会場：PARCO EVENT HALL（心齋橋PARCO 14F）大阪府大阪市中央区心齋橋筋1丁目8-3 tel:06-7711-7409

期間：2020年11月20日(金)～12月6日(日) 10:00-20:00

※入場は閉場の30分前まで ※最終日は18時閉場

※感染症拡大防止の観点などから営業時間の変更、入場者数の制限及び休業となる場合がございます。

入場料：一般 500円 学生 400円 ※小学生以下入場無料

混雑緩和及び感染症拡大予防の為、11月20日(金)～11月23日(月祝)は時間指定入場制による前売券販売を行います。

前売券：「e+(イープラス)」にて**11月14日(土)12:00**より販売開始。前売券販売ページ：<https://eplus.jp/JP-POP-UNDERGROUND/> ※販売ページは前売券販売開始後に公開いたします。

公式サイト：art.parco.jp

主催：PARCO

キュレーション：NANZUKA

会場デザイン・グラフィックデザイン：YAR

## ■ ごあいさつ

「TOKYO POP UNDERGROUND」において、Nanzukaは日本固有の歴史的な背景を引用しながら、「芸術のための芸術」という枠の外にいる日本人アーティストの文脈を紐解きました。元来、明治時代までの日本では、およそ芸術の類と人々に考えられていたものは、そのほとんどは実用品であり、それが故に大衆文化と融合しながら共に発展しました。書や屏風、襖絵、茶道具やネゴロなどの工芸品、キーホルダーとしての根付け、ポスターやプロマイドとしての浮世絵、そして見世物＝興行のために作られた生人形（いきにんぎょう）と呼ばれるリアルな細工物まで枚挙に暇がありません。そして、これらの”創作物”は、大衆的であるが故に元来”ポップ”であり、アカデミックなアートから見て、”アンダーグラウンド”なものと呼ばれるものです。また、「GLOBAL POP UNDERGROUND」においては、Undergroundという定義が、もはやSex、Punk、Cyber、Science Fiction、Psychedelic、Street、Manga / Otakuといった、元来はHigh（高尚）に対するLow（低俗）と看做されてきた領域を巻き込んで、排他主義的な傾向を強める現在の先進国における社会状況に対するカウンターとして現れた現象とも受け止めることができる、という文脈を解説しました。つまり、これらは予定されたシナリオや、守られた価値、歪められて利用されている市民感情などに対する挑戦の軌跡とも呼べるものです。

本展 JP POP UNDERGROUND は、戦後の廃墟から再スタートを果たし、幾度の自然災害に見舞われながらも、その逆境を乗り越えながら未来を目指す日本という国をモニターにした、箱庭的な企画展です。ここに含まれる田名網敬一、空山基、山口はるみ、佐伯俊男、鬼海弘雄といった戦後を生きた日本人アーティストたちは皆、その革新性と独自性が故に、これまで日本の美術界ではあまり高い評価を受けてきませんでした。しかし、昨今のアートシーンのグローバル化によって、また若い世代のアーティストたちの支持によって、その評価は再び高まっています。本展が、地球規模で新たなウィルスの脅威に見舞われた昨今の世界状況にあって、人類の創造性が持つ本質的な強度と知性を体現する特異点となることを期待しています。

NANZUKA  
南塚 真史

## ■ NANZUKA UNDERGROUNDについて

2005年、ポップカルチャーと現代美術の接続を目指し、実験的な企画ギャラリーとしてNANZUKA UNDERGROUND の名で東京渋谷に設立。以後、デザイン、イラスト、ストリート、漫画、ファッション、ミュージックなど、周辺分野における創造性をアカデミックに扱うギャラリーとして活動。これまで、田名網敬一、空山基、山口はるみ、佐伯俊男といった、長年日本のアートシーンの外で評価されてきた才能を再評価し、国際的な現代アートの舞台での紹介に努めている。



2019年に、アメリカの著名ギャラリスト、Jeffery Deitchと組んで行った「Tokyo Pop Underground」展は、新たな枠組みで日本のアートの深淵を紐解いた展覧会として、国際的に大きな話題となった。同時に国内外の若手、中堅アーティストの育成、サポートにも力を注ぎ、海外の有力アーティストの展覧会を日本で開催するなど、グローバルなアートシーンの現在を体現している。

## ■特別展示

渋谷PARCOで展示され、国内外へ大きな話題と注目をさらった空山基による、高さ7mの『Sexy Robot』が心齋橋PARCO内に登場！

期間 11/20(金)～1月中旬予定

場所 心齋橋PARCO 12F 滝の広場

※写真は渋谷PARCOで展示された際のもので、※展示期間は変更となる場合がございます



Installation view: GLOBAL POP UNDERGROUND, PARCO MUSEUM TOKYO, 2020

©Hajime Sorayama

Photo by Shigeru Tanaka Courtesy of NANZUKA

## ■空山基『Sexy Robot floating』Gold ver.のエディションを抽選発売！

開催期間中、展覧会場にご入場いただいたお客様を対象に、空山基のSexy Robot floatingを1/4サイズで再現したeditionのGold ver. 限定200体を先行抽選販売いたします。

商品名

Sexy Robot floating \_1/4 scale

Gold ver. Authenticated by ZHEN.

PVC, gold plating-tone paint, resin + LED light

35x35 x 56cm

ed.1000

価格

165,000円(税込)



©Hajime Sorayama Courtesy of NANZUKA

※画像はイメージです

※商品は2021年3月頃のお届け予定となります

### 販売方法のご案内

本商品は限定生産につき、展覧会『JP POP UNDERGROUND』にご入場いただいたお客様を対象にした抽選販売となります。

※お1人様1入場につき1回限り、PARCO EVENT HALL会場内にて抽選にご参加いただけます。

※当選発表は本展覧会終了後、当選された方にのみご案内させていただきます。

■ 商品販売情報

NANZUKAとPARCOがコラボレーションし、参加アーティストの作品がプリントされた展覧会限定商品を発売する他、JPU限定のメタルポスターやステッカー、NANZUKAの蔵出しアイテムなど貴重な商品が発売される「NANZUKA POP UP」も登場！その他、関連商品や書籍、作品集などを販売いたします。

▼ 『JPU METAL POSTER』  
ED.100 11,000円(税込)



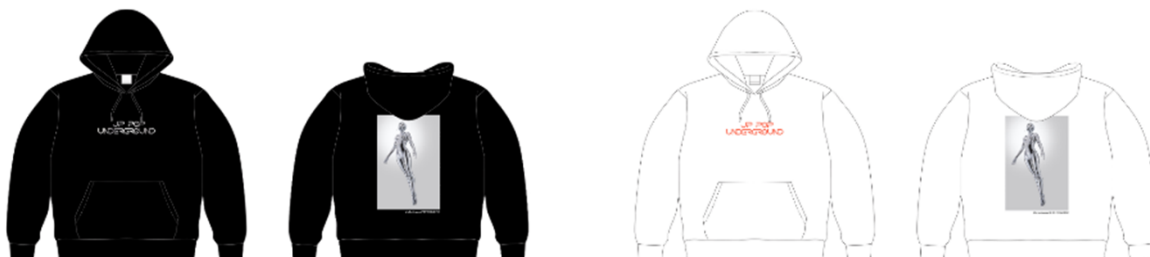
▼ 『JPU STICKER』  
1,100円(税込)



▼ 『HAROSHI POSTER』  
3,300円(税込)



▼ 『Hajime Sorayama JPU HOODIE』 8,800円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼ 『Hajime Sorayama JPU L/S SHIRT』 6,600円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼ 『Harumi Yamaguchi JPU HOODIE』 8,800円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



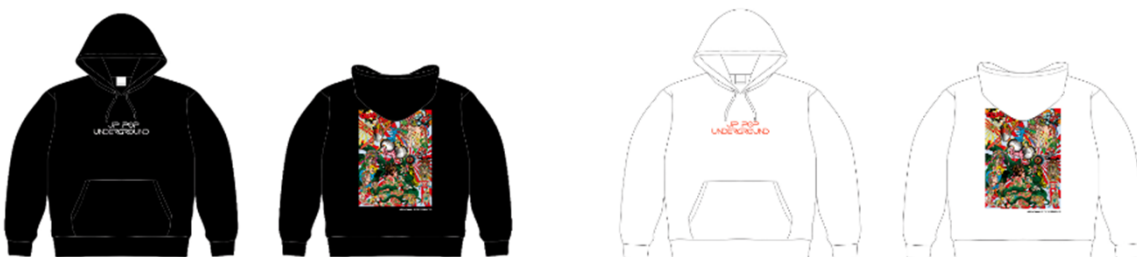
※画像はイメージです。※商品の内容や価格は変更になる場合がございます。※お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。

■ 商品販売情報

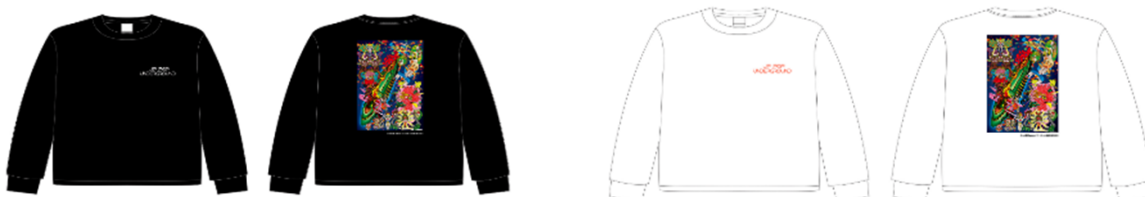
▼ 『Harumi Yamaguchi JPU L/S SHIRT』 6,600円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼ 『Keiichi Tanaami JPU HOODIE』 8,800円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼ 『Keiichi Tanaami JPU L/S SHIRT』 6,600円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼ 『Yoshirotten JPU HOODIE』 8,800円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼ 『Yoshirotten JPU L/S SHIRT』 6,600円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



※画像はイメージです。※商品の内容や価格は変更になる場合がございます。※お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。

## ■ 商品販売情報

▼『JPU HOODIE』 8,800円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



▼『JPU L/S SHIRT』 6,600円(税込) 全2色(White/Black) サイズ：M L XL



※画像はイメージです。※商品の内容や価格は変更になる場合がございます。※お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。

## ■NANZUKA POPUP STORE

NANZUKAの蔵出しアイテムやデッドストック品など、貴重な商品が発売される「NANZUKA POP UP」も登場！参加アーティストに関連した貴重な商品が集まります。一部の商品は、抽選販売となります。また、関連書籍等も販売されます。

※販売される商品の詳細は公開いたしません  
※内容等は変更となる場合があります

## ■内覧会のご案内

「心齋橋PARCO」開業に先駆け、報道関係者の皆様を対象とした全館合同の「内覧会」を開催いたします。

- ・日時：11月17日(火) 10:00～15:00(受付開始 9:30)
- ・受付場所：心齋橋 PARCO 1F・心齋橋筋中央口

内覧会・取材の申し込みは、以下申し込みフォームからお願いいたします。

《申し込み〆切：11月16日(月)中》

申し込みフォームURL：<https://bit.ly/2HUH1qp>

※「取材希望テナント」には「【14F】PARCO EVENT HALL」にチェックを入れてご送信ください。

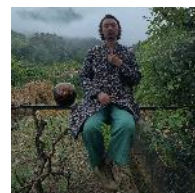
### 【内覧会・取材に関するお問合せ先】

パルコ PR 事務局 (株式会社イニシャル内)担当：月代・岸本・西野  
TEL：03-6821-5730 FAX：03-5572-6065  
MAIL：parco@vectorinc.co.jp  
担当連絡先：080-4667-8070(月代)・090-5243-2837(岸本)・090-4298-5061(西野)

## ■ 参加アーティスト

### 三嶋章義 | Akiyoshi Mishima

1978年大阪府生まれ、東京を拠点に活動。ミクストメディアと映像、インスタレーションを主戦場に、世代を超えて更新されていく知性や感覚や本能的な闘争と進化といった生物進化論的なテーマを、自身の存在を基軸にしながら相関図的に表した作品を制作している。



### 空山基 | Hajime Sorayama

1947年愛媛県生まれ。1970年代初め頃より、驚異的な写実力を武器に、ピンナップのイラストレーターとしてキャリアを築く。その名を世に知らしめた作品「セクシーロボット」シリーズ（1978年-）は、女性の人体美をロボットに取り込んだ表現で、その後のロボットのイメージ形成に大きな影響を与えた。



### ハロシ | Haroshi

1978年東京都生まれ。東京在住。2003年よりスケートボードデッキの廃材を使った彫刻作品、インスタレーションを制作。一般的なリサイクルと一線を画す、救済とも呼べるその作品は、現代のストリートカルチャーの深層を体現するものとして、絶大な支持を集めている。



### 山口はるみ | Harumi Yamaguchi

島根県生まれ。東京芸術大学油画科卒業。フリーランスのイラストレーターとしてPARCOの広告制作に参加。1972年よりエアブラシを用いて、新しい時代を生きる瑞々しく堂々とした女性像を描き、日本社会における女性の在り方について、視覚言語を通して大きな影響を与えた。



### 鬼海弘雄 | Hiroh Kikai

1945年山形県生まれ。法政大学文学部哲学科卒業後、トラック運転手、遠洋マグロ漁船乗組員、暗室マンなど様々な職業を経て写真家になることを決意。1973年より浅草で出会った人々を撮り続け、2004年には写真集「PERSONA」で第23回土門拳賞を受賞。



### 佃弘樹 | Hiroki Tsukuda

1978年香川県生まれ。東京を拠点に活動。自ら「もうひとつの世界」と呼ぶ世界の存在を信じることから、イメージを再構築する手法をとる。近年、その作品がニューヨーク近代美術館に収蔵されるなど、その国際的な評価を急速に高めている。



### 田名網敬一 | Keiichi Tanaami

1936年東京都生まれ。1960年代より、メディアやジャンルの境界を積極的に横断して創作活動が続いている。近年、記憶や夢を原風景に、自身の80年以上の歴史を記した「曼荼羅図」の制作に取り組む。NY近代美術館やベルリン国立美術館など世界中の名だたる美術館が作品を収蔵している。



### 佐藤貢一 | Koichi Sato

1974年東京生まれ。ニューヨークを拠点に活動。テレビやスポーツ誌に溢れる膨大なイメージの影響下に育つ傍、独学で絵画の技法を習得。有名無名を問わず様々な人物を独特なパターンと色使いでユーモラスに再形成した絵画を制作している。



## ■ 参加アーティスト

### 谷口真人 | Makoto Taniguchi

1982年東京都生まれ。類似したイメージを繰り返し描き続け、描かれたキャラクターに特定の感読を持たせないことで、インターネットや人工知能などの新たなテクノロジーの普及と発展を前に、私たち人間の在り方を探し続けている。



### 森雅人 | Masato Mori

1976年徳島県生まれ。アウトサイダーアートを想起させる奇妙に現代的でコミカルな作品を制作。漫画やTV ゲーム、アニメーションなどを自身の美学的観点のルーツとする。近年は芸術における純真性、無心性といったテーマに関心を寄せている。



### 木村充伯 | Mitsunori Kimura

1983年静岡県生まれ。油絵具による彫刻、クスノキを使った木彫や平面作品、インスタレーションなどを制作。モチーフは、「動物」や「人と猿の間」を描いたものが多く、木材を使って動物の体毛を表現することに強いこだわりを持つ。子供の作品のようなイノセントな作風にもかかわらず、生と死、進化や変化を想起させる。



### 大平龍一 | Ryuichi Ohira

1982年生まれ、東京都出身千葉育ち。非物理的でありながらも古代から今現在まで崇拝・信仰の対象とされてきた存在や無意識下で人々の行動に影響を与えているものの分解・再構築から作品を生み出す。



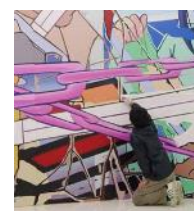
### 中村哲也 | Tetsuya Nakamura

1968年千葉県生まれ。1998年に発表の「レプリカシリーズ」から始まり、一貫して“スピード”という現代を象徴するテーマにもとづき、レーシングカーのような流線型の形状を追求し視覚的な速さを追求している。バンクーバー五輪、ソチ五輪、リージュ日本代表チームのウェアをデザインするなど幅広く活動している。



### 黒川知希 | Tomoki Kurokawa

1975年三重県生まれ、美術の高等教育を一切受けずに独学で絵を学んできた異色のアーティスト。強烈な反骨精神に基づき、常識をいかに視覚的に裏切れるか、などをテーマに、既存の価値に対するアンチテーゼを内包する作品を制作する。



### 佐伯俊男 | Toshio Saeki

1945年宮崎県生まれ。2019年11月21日没。エロス、ユーモア、ホラーを織り交ぜた独特の作品で国際的に知られる。その世界観は、あらゆる性的タブーを露にすることで、私たちの内面をえぐる刺激的な仕掛けに満ちあふれている。



### ヨシロットン | YOSHIROTTEN

1983年鹿児島県生まれ。東京を拠点に活動。グラフィック、映像、立体、インスタレーション、音楽など、ジャンルを超えた様々な表現方法で作品を制作。またアートディレクター、デザイナーとしても国際的に活動している。

